

ふたみ

明石市立二見小学校

2025(令和7)年度

7月号



学びのお話

校長 古川 薫

近畿地方が例年より22日も早い梅雨明けを迎えました。二見小学校では1年生が大切に育てているアサガオの花が咲き始めています。この時期に植物がしっかりと根を張って葉を茂らせるように、子どもたちにも

同様に、学校を長期間離れる夏休みに向けて、命を大切にすることと自主的に学ぶ力をつけて備えさせたいと思います。

本校では、6月19日にポルトポルズさん(松竹芸能)による「笑ってためになるサイエンスショー」が行われました。この行事は日本教育公務員弘済会の教育研究助成事業のひとつで、応募、抽選の結果、実施していただくことができました。会場の子どもたちは、真空の力や風の流れなどについて身近なものを使った科学実験の結果を予想しながら、すっかり惹きつけられていました。驚きと笑いの声が絶えない60分間でした。そこには、紙と鉛筆、またはタブレットの中で学ぶこととは違って、知りたいと思うことを予想したり実際に五感を使って確かめたりする学びの姿がありました。机上の学びは効率的で手間や時間を省略できるという利点もありますが、環境や時間が確保できる場合は、このように子どもたちに体験させることで生き生きとした学びが生まれるものだと実感しました。

まもなく夏休みに入りますが、ご家庭におかれましては、引き続き、子どもたちに興味のあることを夢中になって追求させて、学びを深めていただきたく存じます。また、地域におかれましては子どもたちへの見守りや楽しい行事の計画をしていただき誠にありがとうございます。皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025 代表選出おめでとうございます！

二見小学校の卒業生 山本剛志さん(17)が、11月に東京で行われる世界最高峰の聴覚障害者大会「デフリンピック」の男子バレーボール日本代表に選ばれました。さらにすごいことに、山本さんは、デフリンピック史上最年少での代表選出とのこと。これまでの努力と今後のご活躍に、二見小学校関係者一同、心より拍手をおくります。大会の開催が待ちどほしいです。